

白馬

はくば

議会だより

112号



動き始めた、復興へ!

■ 村政を問う 一般質問 9

- ・被災滞納者の補助事業除外は
- ・創業希望者への資金補助を
- ・平成29年冬季国体開催決定を受けて
- ・震災対策室の業務範囲と人員配置
- ・村道未登記路線数は
- ・再生エネルギー担当の環境課再設置を
- ・村独自の医療従事者の育成は
- ・災害復興計画の策定予定は

■ 災害復旧に予算を集中 1

- 27年度予算を審議 3
- ふるさと納税大幅増額 5
- 公衆WIFIを予算化 7
- お知らせと視察報告 18
- わたしのひとこと 19

予算集中!

自然と共生し誰もが安らげる環境をつくる

- ・山岳観光の安全浄化対策（山小屋トイレの改修）…………… 観光施設整備費 320万円
- ・太陽光発電、E V等の地球温暖化対策…………… 地球温暖化対策事業 270万円
- ・地区が行う廃屋の解体撤去の補助…………… 景観形成事業 80万円

快適で安らぎのある生活環境を築く

- ・災害復旧及び災害廃棄物の処理…………… 災害復旧費 16億8,080万円
災害塵芥処理 2億1,850万円
- ・長寿命化計画による橋梁の修繕…………… 道路改良国庫補助事業 5,270万円
- ・住民との協同によるきめ細かな維持補修…………… 道路維持補修事業 2,190万円
- ・不法投棄対策やごみ集積場設置の促進…………… 塵芥処理費の内 670万円

支え合い健康にくらす地域福祉社会を築く

- ・福祉医療費の村費支給範囲の拡充を継続…………… 福祉医療費給付事業の内 300万円
- ・デマンド型乗合タクシーを福祉交通として継続…………… 乗合タクシー運行事業 1,300万円
- ・交通災害共済の村費負担を全村民へ拡充…………… 交通災害共済保険事業 280万円

地域をみつめ自然に学び文化を育む

- ・社会体育施設の整備…………… 国民体育大会開催事業 1億4,070万円
- ・伝統的建造物群保存事業の推進…………… 伝統的建造物群保存事業 980万円
- ・安全・安心を大切にされた学校環境の整備…………… 学校環境整備事業 2,970万円

優れた資源と人を活かした活力ある経済を築く

- ・小規模事業者への支援…………… 商工振興事業 3,640万円
- ・ゆるきゃらを活用し観光宣伝を推進…………… ゆるきゃら活用事業 240万円
- ・オリンピック施設を利用した大会の開催…………… スポーツ振興事業 1,560万円
- ・観光と農業の連携による特産品開発の推進…………… 特産品開発事業 230万円

住民と行政が協働し開かれた村をつくる

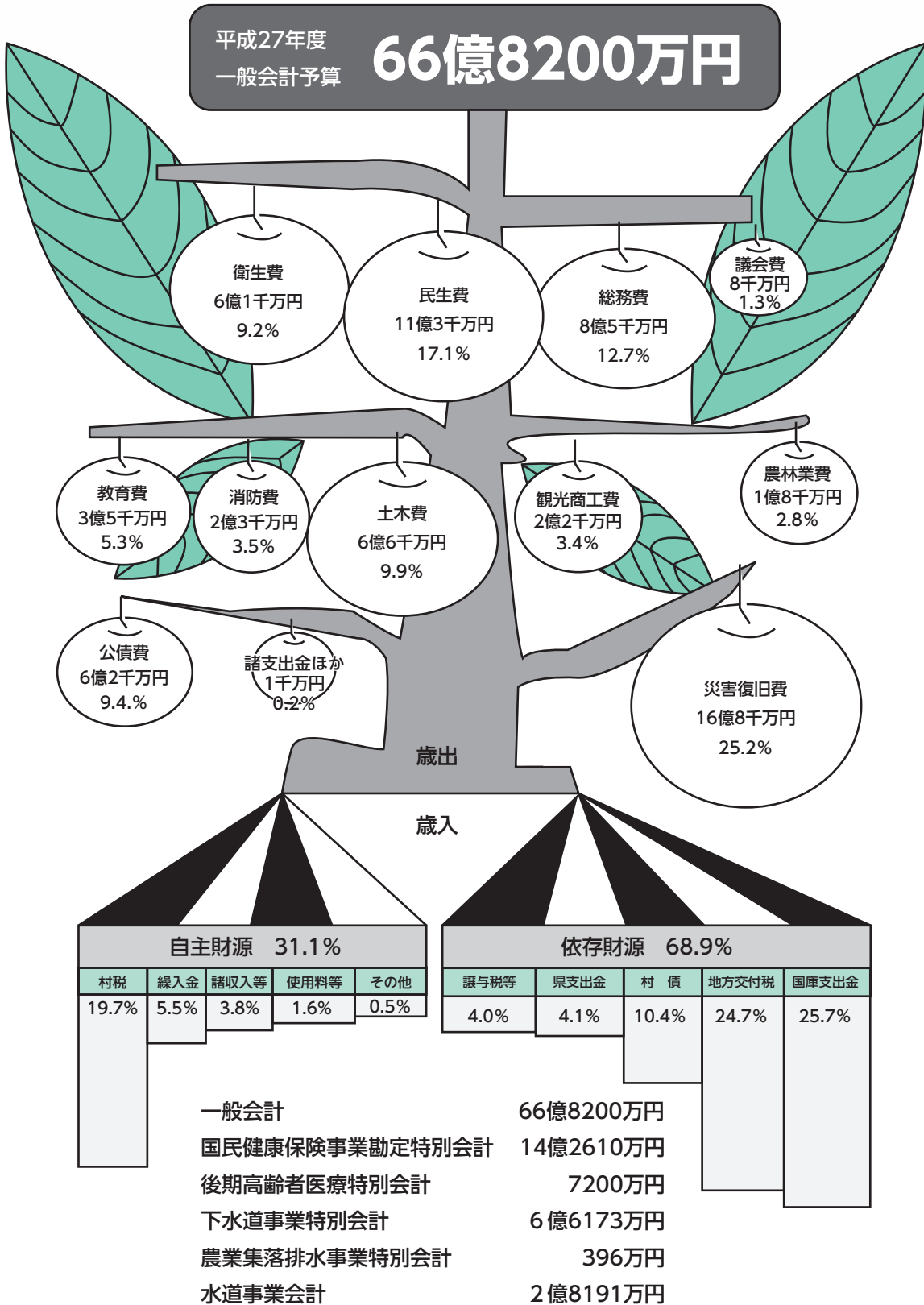
- ・地域づくり活動を積極的に支援…………… コミュニティ推進事業 1,350万円
- ・第5次総合計画の策定…………… 第5次総合計画策定事業 520万円

※予算額は十万円未満を切り捨て

平成二十七年度当初予算が定例会において議決されました。

平成27年度 一般会計予算

災害復旧事業に



会期 3月2日から3月20日

- ※計画変更等……………2件
- ※条例制定……………4件
- ※条例改正……………8件
- ※補正予算……………9件
- ※27年度予算……………6件
- ※指定管理者の指定……………2件
- ※関係機関への意見書提出……………3件

3月定例会のポイント

平成27年第1回定例会（3月）は、主に4月から始まる新年度予算の審議をする議会です。普通会計、特別会計（国保・後期高齢者・下水道・農集排）、水道企業会計の予算案を、予算特別委員会で集中審議し、全会計を可決しました。

また、子ども子育て関連法案に伴う保育所等の条例制定や、神城断層地震に伴う補正予算などを審議しました。災害復旧に伴う国庫事業が固まらないため、翌年度への繰越事業費については臨時議会を開いて審議することになりました。

平成27年度は災害復旧事業に集中しており、総予算額も大きくなっています。

予算特別委員会

●議案第20号 平成27年度白馬村一般会計予算

歳入歳出予算総額を66億8200万円とするもの。災害復旧関連経費の計上もあり、予算総額は前年比17億7600万円、36・2%の増。

歳入では村税13億1420万円、対前年2・3%の減。地方交付税16億5250万円で対前年1・5%の増。村債6億9180万円で対前年11・2%の増など。

歳出では、災害復旧事業費16億8081万円。災害復旧を優先のため普通建設事業（ハード事業）2億7629万4千円で対前年58・4%の大幅な減。

総務課関係では、白馬高校支援事業に1523万4千円、ふるさと納税寄付者への返礼品の

経費400万円、平成28年度からの第5次総合計画策定事業に527万円、堀ノ内の消防積載車更新に760万円など。

問 白馬高校支援事業負担金の小谷村との負担割合は。

答 白馬山麓環境施設組合の負担割合に準じて、67対33、概ね2対1で計上している。

税務課関係では、歳入の村税では平成27年度は固定資産税の評価替えの年にあたることや、震災による減免などの影響を見込み、前年度比3108万9千円、2・3%の減だが、滞納処分強化を図り、村税延滞金などは増額で見込む。歳出ではインターネットからのクレジット決済の整備経費42万2千円、固定資産税の地番図作成委託料を1107万7千円。滞納整理のための搜索・公売関係委託料を453万6千円など。

問 今年の公売の状況は。

答 震災の影響で遅れたが、4月以降に順次行う計画をしている。

住民課関係では、震災による半壊以上の住家及び非住家の解体に要する費用として災害廃棄

物処理費用に2億1800万円など。

農政課関係では、被災農地の管理委託料50万円、被災農家支援負担金150万円、特産品開発事業は232万円。有害鳥獣対策事業997万1千円など。地籍調査事業の1883万3千円は、震災の影響で基準点がずれたため、25年度、26年度事業の測量成果を見直す作業を27年度で行う。

問 被災農家支援負担金の内容は。

答 耕作不能農地に対して、1反歩あたり7500円を耕作者に支払うもので、被災農地管理委託料は、利用権設定がある農地が耕作不能であるときに、借地権者に畔刈りなどの管理費用を支払うものです。

意見

農地の復旧について村がすべて負担すると早々に方針をだしたが、住む人が居てこそその農地なので、農地と同じように、宅地に対する方針をだしてもらいたい。

行政側意見

宅地は個人で対応してもらいたい。信州大学の報告で、建築方法である程度の地震は対応でき

ると理解されたと思う。ポイントを絞ってのボーリング調査などはしていかなければと思う。

建設課関係では、道路維持補修工事に900万円、行政区への原材料費700万円、除雪委託料1億7500万円など。道路新設改良費は、災害復旧に予算を集中し、前年度比2億79万9千円の減額。

問 災害復旧工事の予定は。また冬期の工事は。

答 8月くらいまでに発注を終わらせ、工事を進めたい。冬期の工事は品質管理が難しい。

教育委員会、教育課関係では、共同調理場の設計管理委託料に2000万円、私立高等学校等通学補助金25万5千円、幼稚園就園奨励費補助金688万8千円、北小学校のつり天井改修工事費2700万円、中学校のICT教育に関するリース料503万9千円、伝統的建造物群保存事業では修理補助金900万円、同災害復旧費2140万円など。

問 共同調理場の2000万円は、検討委員会もしていない。少子化で南北小学校統合や給食の統合など、すべて検討して予算計上すべきでは。

答 今週末には検討委員会を開催し、具体案を検討していきたい。予算は、県内の同規模施設工事が5億円くらいであったので、そこから委託料を積算した。

問 地震後に確認された断層の文化財指定は。

答 審議会で答申があり、所有者と協議しながら指定していきたい。

スポーツ課関係では、平成28年度国体冬季大会の準備費用1億4078万7千円、ナショナルトレーニングセンター事業1831万4千円、スノーハープ維持管理事業2135万1千円。ジャンプ競技場維持管理事業8278万6千円、ウイング21維持管理事業2207万8千円など。

健康福祉課関係では、国の地域介護・福祉空間整備推進交付金活用事業で堀ノ内区、三日市場区の地域支え合いセンター建設費6888万円、臨時福祉給付金等に2207万円、30歳代

の若年層を対象の特定健診経費、定期接種費用などの保健予防事業に4752万4千円など。

問 地区にどのくらいの人が残るか不明なのに、とりあえず1施設という考えがなかったのか。

答 被災地区には人が集まれる、拠点となる施設が必要であると考え2施設を建設することにした。

問 常勤に近い者を臨時保育士にしていることについては。

答 財政上の問題もあり現状は臨時職員対応となっている。

観光課関係では、最終年となる観光地経営計画策定に880万2千円、親海湿原遊歩道の修繕に750万円、白馬村観光局負担金に7996万8千円、被災住宅の修繕工事補助金に1000万円。

問 観光地経営計画の進捗状況は。

答 26年度は委員会を2回、ワーキンググループを3回開催、27年度は各4回予定、9月に骨子を固め、パブリックコメントを経て最終案を作る予定。

上下水道課関係では、合併浄化槽設置補助事業に1477万2千円。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第21号 平成27年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出予算総額を14億2610万円、前年比1億8822万円の増。医療費の高額化や、特定健診、特定保健指導に係る事業費及び後期高齢者拠出金、介護納付金等の伸びによる。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第22号 平成27年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額を7200万円、前年比310万円の減。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第23号 白馬村下水道事業特別会計予算

歳入歳出予算総額を6億6173万6千円、前年比584万円の減。

歳入では使用料1億87748万4千円、一般会計繰入金3億2381万6千円など。歳出では、浄化センター工事請負費300

0万円、汚泥処理委託料1036万8千円、単独災害復旧事業500万円など。

問 受益者負担金の不納欠損額と理由は。

答 96万3200円であり、時効消滅によるものがほとんど。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第24号 平成27年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出予算総額を396万6千円、前年比131万円の減。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第25号 平成27年度白馬村水道事業会計予算

収益的収益は3億326万3千円、収益的費用は2億979万3千円。資本的収入は1353万9千円、資本的支出は1億11万4千円。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

少数意見報告 太田 伸子

共同調理場建設の設計管理委託料2000万円を計上するにあたり、村学校給食施設検討委員会は一度も開催されていない。自校給食を行っている白馬南小学校の調理場も22年経っている。また高齢者の配食サービスや、地域校の特色をつけるためにも白馬高校も構想に入れないかなど、大切な検討事項がある。規模や場所の選択、設備機器などの検討もなく、アバウトに近隣の調理場建設費用を参考に計上することには、認めることはできない。

賛成討論 加藤 亮輔

災害復旧事業、生活再建策等の計上、また、子育て世帯から要望の強い未満児保育定員を4名拡大したことを評価し、賛成する。

しかし、軽微な被害に対しての「被災住宅修繕工事補助金事業」から、滞納者に法的根拠も示さず除外している。滞納者に対しては、法律により、高い延滞金、差し押さえ、公売の強制処分済みである。「除外よし」との規定は、国の法律にはない。誰でも利用できるように、除外規定の削除を求める。

総務社会委員会

●議案第2号 白馬村辺地総合整備計画の変更

内山辺地計画を変更し、27年度以降の施設改修、高性能圧雪車の導入を追加、事業費を変更。
▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第3号 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第4号 長野県神城断層地震による被災者に対する村税の減免の特例に関する条例の制定

被災者に対する村税の減免、村民税の減免割合、固定資産税の減免（一部損壊で使用できない場合の減免）、軽自動車税の減免、固定資産税の納期を変更など。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第5号 白馬村スポーツ拠点づくり基金条例の制定

スポーツ拠点づくり自立支援事業交付金400万円で基金をつくり、大会を継続的に行うためのもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第6号 白馬村保育料条例の制定

子ども子育て支援法に伴う保育料の額の制定。第4子以降の9000円減免は、白馬村独自のもの。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第7号 白馬村放課後児童クラブ条例の制定

児童福祉法の規定に基づき、放課後児童クラブの対象児童や利用料などを定めるもの。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第8号 白馬村保育所設置条例の全部改正

子ども子育て支援法に伴うもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第9号 白馬村行政手続条例の一部を改正する条例

法改正に伴い、行政指導の中止の求めや、処分等の求めの明文化、指導における根拠の明示を義務付けるもの。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第10号 白馬村特別職で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

法改正に伴い、期末手当を6月期と12月期に振り分けるもの。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第11号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

災害時等の管理職員に係る平日深夜等の手当の新設等。

●議案第13号 白馬村グリーンスポーツ条例の一部を改正する条例

他の体育施設と整合性をとるため、村民、村民外の区分を削除一般、営業使用の区分を新設。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第14号 白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第15号 平成26年度白馬村一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2312万1千円を追加し、66億6768万7千円とするもの。
総務課関係では、経済対策交付金などが主なもので、地方創生先行型として2430万7千円、地域消費喚起・生活支援型として1740万9千円の増額等。
ふるさと納税寄付額増に伴い、お礼の品分として1300万円、総合戦略策定事業費として158万円、白馬高校支援事業のICT教育と全国募集にかかる費用946万4千円を増額。



海外からのお客様

問 白馬高校の備品購入台数と内訳は。

答 電子黒板4台、タブレット35台を予定。

問 高校への負担金の小谷村との割合は。

答 白馬山麓環境施設組合の割合を参考。

問 ふるさと納税の総額は。

答 現在、1億4500万円を超えている。

問 健康福祉関係では、子育て支援臨時特例給付金は事業費確定

で373万円の減額、530件8



新学期始まる

92万円の支給。臨時福祉給付金は事業費確定で588万3千円の減額、1992人、2485万円の支給。未申請者は450名で、半数以上が外国人など。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

議案第16号 平成26年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1790万5千円を追加し、12億7255万8千円とするもの。

医療給付費の伸びにより療養給付費1600万円、高額療養費180万円の増額など。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

陳情・請願

●陳情第19号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

問 公共建築物の耐震診断と改修状況は。

答 庁舎の耐震診断は終了、北小体育館と八方体育館のつり天井は27年度に改修、村営住宅は27年度に診断。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第1号 地方自治の堅持を日本政府に求める意見書提出に関する陳情書

意見

・沖繩の民意を真摯に受け止めるべき。

討論

・国と自治体は対等であると考える。沖繩だけの問題ではなく、地方のために採択するべき。

・予算については疑問であるが、政府は会うべきという部分については賛成。

・懸念を抱かせるのは面談がないため、速やかな面談を求める意見書を提出するべき。

▽委員多数の賛成により一部採択すべきものと決定。



火事に出勤

●陳情第2号 集団的自衛権行使のための法整備を行わないよう求める意見書提出を求める陳情書

意見

・国の自衛権は法整備が必要。
・もつと国民間で議論する必要がある。

討論

・集団的自衛権により日本人がテロのターゲットになる可能性もある。外国人観光客への影響もあると思われるので、採択すべき。

・陳情書には反対だが、非軍事的な外交戦略の確立を前面にした意見書として一部採択すべき。

▽委員多数の賛成により一部採択すべきものと決定。

●26年度請願第1号 活力ある白馬村を創出するための減税施策と村を守るための村税の施策を求める請願

意見

税の公平性の面から、受け入れがたい。

▽委員全員の反対により、不採択すべきものと決定。
なお、参考人の意見は、行政に提言していきたいと考える。



観光振興に新たな施策が望まれます

産業経済委員会

●議案第12号 白馬村使用料条例の一部を改正する条例

野外緑地広場施設（神城テニスコート）を27年度から指定管理者制度に移行することに伴い、使用料の形態などを他のスポーツ施設に合わせるもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第15号 平成26年度白馬村一般会計補正予算（第10号）

農政課関係では、主なものとして、

特産品開発団体支援補助金等として、220万円を増額。多面的機能支払交付金事業は、長寿命化事業に対するもので、247万3千円を増額。大北森林組合の補助金不正受給問題があったことを受け、同組合への交付金を264万円を減額。

・地籍調査事業委託事業では、地震で基準点がずれ作業中止になったことなどで155万円を減額。

観光課関係では、ワイファイ環境整備で、屋外ポイント整備委託料232万68千円、工事請負費2273万6千円、営業

施設などの無線LAN設置補助金1000万円を増額。補助金上限は30万円、補助率は2分の1。プレミアム商品券の発行事業補助金で1750万円を増額。

問 ワイファイ整備事業の実施時期は。

答 冬のシーズン前には運用する計画。

問 ワイファイの電波の届く範囲は。

答 ステーションから半径30メートル以内を考えている。

意見 プレミアム商品券は、前回の反省を踏まえ村民に広くいきわたるように考えてもらいたい。

上下水道課関係では、震災時や災害査定時に派遣を受けた県や近隣自治体職員宿泊費79万4千円、また、日当、交通費、超過勤務手当127万9千円を増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第17号 白馬村下水道事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算総額から、それぞれ3億8316万円を減額し、

それぞれ9億675万9千円とするもの。

震災被害の復旧事業費の確定により3億7780万円の減額など。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第18号 白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算総額からそれぞれ1709万円を減額し、それぞれ1140万6千円とするもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第19号 白馬村水道事業会計補正予算（第5号）

収益的収入を406万円減額、収益的支出を94万円増額し、資本的収入を6千430万円減額、資本的支出を7030万円減額するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

陳情

●陳情第17号 最低制限価格の設定に関する陳情書

意見

・地元業者保護の観点から採択してもいいのではないかと。
・制度導入は、落札価格の上昇は避けられないと思われる。
・趣旨は理解できるが、村の場合には復興ということもあり、財政的な面からも今回は見送りとしてはどうか。

・参考資料などを集め、継続的に審査をすべき

▽委員全員の賛成により、継続審査とすべきものと決定。

●陳情第18号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

討論

・分からない部分も多いので、継続審査すべき。

▽委員全員の賛成により、継続審査とすべきものと決定。



村男バーガー 今後に期待！

● 3月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
白馬村辺地対策総合整備計画の変更について	可決 賛成:全員
長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	
長野県神城断層地震による被災者に対する村税の減免の特例に関する条例の制定について	
白馬村スポーツ拠点づくり基金条例の制定について	
白馬村保育料条例の制定について	
白馬村放課後児童クラブ条例の制定について	
白馬村保育所設置条例の全部改正について	
白馬村行政手続条例の一部を改正する条例について	
白馬村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する一部を改正する条例について	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村使用料条例の一部を改正する条例について	
白馬村グリーンスポーツ条例の一部を改正する条例について	
白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について	
平成26年度白馬村一般会計補正予算(第10号)	
平成26年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	
平成26年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第4号)	
平成26年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	
平成26年度白馬村水道事業会計補正予算(第5号)	
平成27年度白馬村一般会計予算	
平成27年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算	
平成27年度白馬村後期高齢者医療事業特別会計予算	
平成27年度白馬村下水道事業特別会計予算	
平成27年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算	
平成27年度白馬村水道事業会計	
追加議案	
ケーブルテレビ白馬の指定管理者の指定について	可決 賛成:全員
白馬村グリーンスポーツ、夢白馬施設、白馬村山小屋等の指定管理者の指定について	
損害賠償事件に係る損害賠償額の決定について	
平成26年度白馬村一般会計補正予算(第11号)	
平成26年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第5号)	
平成26年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	
平成26年度白馬村水道事業会計補正予算(第6号)	
固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議員発議	
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決 賛成:全員
地方自治の堅持を日本政府に求める意見書	
国際紛争をなくするための非軍事的な外交戦略を求める意見書	
地域で安心して産み育てることができる体制の維持・充実を求める意見書	

● 請願文書 ●

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
八方尾根山水会 八方尾根観光協会会長ほか251名	白馬村	活力ある白馬村を創出するための減税施策と村を守るための村税の施策を求める請願書	総務社会委員会	不採択 反対:加藤

● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 ほか1名	長野市	最低制限価格の設定に関する陳情書	産業経済委員会	継続審査 賛成:全員
一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 ほか1名	長野市	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書		
一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 ほか1名	長野市	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	総務社会委員会	採択 賛成:全員
地方自治の本旨を実現する市民の会 事務局長 中川賢俊	高森町	地方自治の堅持を日本政府に求める意見書提出に関する陳情書		一部採択 賛成:全員
宮脇哲也	白馬村	集団的自衛権行使のための法整備等を行わないよう求める意見書提出を求める陳情		一部採択 反対:加藤

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

フォトニュース



わくわく 保育園入園式



白馬の魅力を発信します ラッピングバス

問 被災滞納者の補助事業除外の変更は

答 住宅修繕補助金要項の変更しない



加藤亮輔議員

【神城断層地震について】

問 被災者支援の住宅修繕工事補助事業で、滞納している人を除外している点は納得出来ない。国や県が被災者支援で滞納者を排除する例はない。見直すべきでは。

村長 村の補助金交付に関する基本的な方針に沿っているので、変更するつもりはありません。

問 滞納者は延滞金を払い、強制執行もされる。災害支援からなぜ除外するのか。

観光課長 被災者支援ではあるが、税の徴収もあわせて制度設計するのが村の補助制度の根幹です。

問 ハザードマップに1次避難所23カ所、2次避難所10カ所が指定されている。耐震診断に合格していない施設数は。

総務課長 13施設あります。

問 新田・切久保はいずれも耐震診断に合格していません。佐野・沢渡の避難所はスノーハープだが、行くのに大変。早急に6カ所程度整備が必要。地域住民と一緒に避難所建設計画を作るべきでは。

村長 そのようなことも考えなければなりません。

村長 震災復興公営住宅の考えと着工は。

村長 27年度で建設地や規模等の検討及び設計を行い、28年の降雪前までに完成予定です。

問 一部損壊世帯も同時に解体・撤去できないか。

住民課長 公費での解体は一定の線引きが必要です。一部損壊は個人負担で、村の行程でやりたい希望があれば相談に応じます。

問 一部損壊が「一番割に合わない」との声を聞く。費用についても支援すべきでは。

村長 課長の説明の通りで、村でやるとすれば相当の金がかかります。

問 農地の改修は国と村で全額補償。住宅も支援策を考えてほしい。農地に新築する場合に、地目変更など、県との調整は進んでいるのか。

農政課長 具体的要望は聞いていますが、県とは情報交換しています。地震での特例はありません。

問 知恵を絞って要望に応えていただきたい。復興村営住宅は、1カ所にまとめて建設するのではなく、元の地域とコミュニケーションが取れる場



避難所の耐震化は

所に建設すべきと思うが、検討は。

建設課長 白紙の状態です。建設戸数の把握を踏まえて検討していきます。

問 消防団に明るいヘッドランプ、防火手袋、消防車に投光機、10t油圧ジャッキ、チェーンソー等の常備が必要では。

総務課長 装備については今後検討していきます。

問 【村長公約について】組織活性化の源は働く人である。職員、嘱託、臨

時、公社准職員など複雑な雇用形態の改善策は。

村長 定数の問題もあるが、臨時職員が正職員になる道を探ります。

問 【緊急支援交付金について】地域消費喚起・生活支援型には、低所得者等への生活支援事業も含まれるが、なぜプレミアム商品券1本だけに絞ったのか。

村長 事業設計は村に委ねられています。インパクトある施策として商品券にしました。

問 創業希望者への事業開設資金補助を

答 補助制度創設に向けて考えていきます



篠崎久美子議員

などと連携して創業支援事業を行いながら環境を整えます。

問 創業や移住・定住受け入れの担当者配置や窓口設置を。

【地域経済活性化について】

問 商工会が27年度に予定している創業塾に合わせ、創業時の資金補助制度を創設しては。

村長 補助制度は有益なので、塾第1期生が創業するまでには、創設に向けて結論を出します。

問 創業希望者に、空き家や休業店舗、後継者不足が心配な宿泊事業への引き合わせをしては。

村長 マッチング機能は重要で、商工会、金融機関

【震災復興について】
問 宅地の安全性の担保は。また、もとの宅地に建てるのが困難な場合、復興住宅や集団移転の考えは。

村長 信州大学の報告会では「地盤調査が必要だが、現在の耐震技術を施せば同様の地震でも安全性は担保できる」というものでした。公営住宅は意向を聞きながらと考

問 情報ネットワーク環境整備として計画する、Wi-Fi（ワイファイ）整備事業の内容は。

村長 主要防災拠点の役場周辺、指定避難所の八方文化会館、瑞穂体育館、観光拠点のJRB白馬駅周辺に整備します。個別事業者で整備する場合は、補助率2分の1、上限30万円の補助をします。

問 被災者の意向調査の予定は。

村長 解体・撤去申請者に対しての第1次調査を3月中に、公営住宅入居調査を含めて第2次を7月ごろに、全体意向調査として第3次を9月ごろに予定しています。

問 小規模事業者はほとんどが住居併用だが、修理補助は住居部分のみである。支援策を。

村長 震災直後と1カ月後に事業者向けアンケートを実施するも、冬期で回収率が低く被害の全容把握ができていません。支援策は、今後検討します。

問 農地復興予定と、耕作不能地対策は。

村長 春に向け全農家に被害報告を依頼中です。農地復旧は15ha以上で夏以降の復旧工事にならざるを得ず、一部は28年度の作付けへの影響も懸念されます。耕作不能地へは、村単独で国の制度に見合うような金額補助を考えています。

問 今後の防災対策のため、発災後の対応を早期検証することが必要では。

村長 大規模災害への体制強化のため検証は非常に有意義で、早い段階で取り掛からなければならぬと考えます。

【下水道問題について】

問 現在の状況と今後の予定は。

村長 地震のため事務改善報告書への日本下水道事業団の検証報告が3月にずれ込みましたが、「適正なものと評価できる」という結果で、

附帯意見として「提案された対策の実施、庁内での業務改善への取り組みの必要性」を指摘されました。結果はホームページ等で公表します。受益者負担金条例の見直しも、意見を参考に改正に取り組みます。



創業支援に動き始めた商工会

問 平成29年冬季国体開催決定をうけて

答 村民一丸となり成功に向け盛上げたい



太田伸子議員

【白馬国体について】

問 第72回国体冬季大会スキー競技会場が白馬村に決定されたが、今後の村の対応は。

村長 運営母体は長野県で、長野市でスピード・フィギュアスケート、岡谷市・軽井沢町でアイスホッケー、白馬村でスキーと県内4市町村の開催。県の国体実行委員会と関係4市町村の実行委員会と協調し、大会の成功に向けて取り組みを進めます。4月早々に県と今後の進め方について調整していきます。

問 オリンピックからの古い施設・資材が多いが整備は間に合うのか。

村長 ナショナルトレーニングセンター指定時に、文科省から国際ルールに合った施設に改修するよう要望があり、インランのクーリングシステムと転倒防止板、競技・リザルトシステムの設計委託費、ジャンプ競技場とスノーハープの圧雪車2台の更新を平成27年度当初予算に計上しています。平成28年度事業で、施設改修工事をお考えしており、資材の充実については、全日本・長野県スキー連盟、白馬村スキークラブと連携して進めていきます。

【白馬高校存続について】

問 平成27年度在校生数の見込みは。

村長 2年ぶりに全在校生数が160名を超えるということ、今後の展開に大きな期待を寄せています。

問 小谷村との両村の協議の場は。

村長 理事者や担当者が一堂に会するという機会は少ないので、「白馬高校の将来を考える会」のような時に打ち合わせをして合議案を出しています。

問 両村の出資金の受け皿は。

村長 平成27年度は最初の年度でもあり、協議の結果、白馬村一般会計で運営し、小谷村から負担金というかたちをとりました。

【震災復旧事業について】

問 震災復旧復興計画は。

村長 被災が一部地域に集中していることから「復興計画」なるものではなく、各復旧事業に対して早急に復旧を目指しています。公共事業関係では局地激甚災害の指定を受けたことによる国庫負担率のかさ上



国体開催に向けて施設整備が始まります

げ・補助率増高の協議により、道路・農道用施設といった施設は原則として被災した施設等を原型復旧することとし、復旧進度は3年間としています。

問 震災以降の財政調整基金の取崩し状況と基金残高の見通しは。

村長 平成26年9月末残高は約9億5300万円でした。震災後、3月定例会補正予算（第10号）時点で、総額約6億3100万円の繰入額となり、約3億1900万円の残高となっています。国の補助金や特別交付税などで加算措置され

る見込みで、決算時には基金の繰入額は、ある程度減額するものと考えています。よって決算時には、今の予算ベースまでは減らないと考えています。

問 仮設住宅入居者と入居以外の被災者との扱いの公平性は。

村長 一部の方から自己が用意する物品等に差があるとのご意見をいただきましたが、白馬村義援金配分委員会では議論を重ねた結果、若干金額に差を設け、全壊・半壊ともに仮設住宅入居者については、6万円の減額をすることといたしました。

問 震災対策室の業務範囲と人員配置は

答 総務課に設置、横断的調整で復興管理



太田修議員

【震災復興に係わる対応策について】

問 区未加入者の把握と行政指導は。

村長 正確な調査は行っていない。転入時に行政区を紹介するリーフレットを配布しています。震災で地域コミュニティの重要性が見直され、この機会を逃がすことなく、加入促進に努めていきます。

問 地域コミュニティや消防団等の成果が、犠牲者ゼロの背景では。

村長 コミュニティと迅速な対応の結果です。

問 震災復興対策室の設置に伴う業務範囲と人員配置は。

村長 4月1日から総務課内に設置し、復興事業を各課横断的な調整や復興管理を行い、従前同様な生活再建支援に努めます。また4月の人事異動に合わせて人員配置を検討しています。

問 庁内の職員体制は。

村長 災害復旧関連の業務量が著しく増大しており、住民課、建設課、農政課、上下水道課につきましては、十分なマンパワーを投入できるように関係機関に働きかけています。

問 復旧での技術系職員の不足は。

村長 融雪期を向え農地等の被害を予測し、県や下水道公社等にお願した結果、県から4月1日より1名の派遣が確保できました。

問 今後、技術系職員の確保は。

村長 公共事業の減少の中で、ある程度の職員が必要であり、計画的な採用を考えます。【新年度の予算概要と観光施策等について】

問 歳入・歳出のかいり額は。

村長 公共土木施設災害復旧事業費を含めると約8億6000万円が歳入不足となりました。

問 事業の優先順位とその基準は。

村長 予算査定では、多くの事業の見直しや特定財源の確保に努め、緊急性の低い事業を先送りしました。優先順位の基準では、歳入・歳出のバランスとマンパワーの需要供給と言った例年と違った観点から査定事務を進め、人的対応を含め災害復旧事業に振り替える予算編成となりました。



地域での協同作業

問 大規模縮小や次年度への先送り事業は。

村長 大規模縮小事業では村道改良国庫補助事業や、地籍調査事業で、震災による基準点がずれたことなどによる再調査のみとしました。先送り事業の主なものは、庁舎等耐震改修工事、道路改良起債事業、公有財産管理台帳整備、安曇綜合病院改築負担金や防災計画などです。

問 先送り事業や村有施設の維持・修繕等の計画的な実施は。

総務課長 今年予定の見直し事業は震災復旧を優先するため次年度に延期します。予算査定時の先送り事業や公共事業の策

定等を3年毎に見直しを行います。

問 主要観光施策と観光局改革構想は。

村長 継続事業である「白馬村観光地経営計画」策定委員会及びワーキングで協議を重ね9月を目途に骨子案をまとめる予定です。公衆無線LAN整備、山小屋の環境型トイレ改修設計、「北アルプス3市村ブランド戦略」などが主なものです。また観光局は社員の加入率が低いことや組織の目標、取り組みべき事業、財源確保の観点及び村長が代表理事を兼ねることなどについて検討委員会で協議を進めています。

問 村道未登記路線数は

答 村全体で114路線



松本喜美人議員

【村道等の不動産未登記問題について】

問 村道等の不動産未登記問題の有無は。

村長 村道敷きが、白馬村名義になっていない村道は現在存在し、昭和40年代から昭和50年代前半に、道路拡幅改良工事をした路線です。

問 未登記路線の地区と名称は。

村長 村全体では114路線で、大字別では神城39路線、北城75路線です。

問 固定資産税等の税負担は。

村長 公衆用道路用地等村有財産である土地については、現況が公衆用道路用地等

村が公共または公共の用に供する固定資産は非課税としています。土地課税台帳には、法務局の登記簿により、地目・地積を登録していますので、筆の一部分が公衆用道路として使用されていても、分筆がされていない場合は課税しています。しかし、所有者から現況が公衆用道路用地の旨の届出があり、地積等の確認がとれば任意分筆のうえ非課税の場合もあります。

問 未登記解決に向けての取り組み状況は。

村長 平成28年度から4年間で和田野区内の村道認定箇所について、受託測量業者による用地確定・測量・用地契約・登記事務処理を実施し、その他に国土調査による未登記の道路敷き確認も進めたいと考えています。

【事業仕分けについて】

問 太田前村長が推進した各種事業の事業仕分けについて、継続・一部見直し・廃止に区分すると、JR白馬駅前等

の電線地中化事業の区分は。

村長 「一部見直し事業」と考えています。平成30年度までの、長野県第7期無電柱化推進計画の候補路線として、大町建設事務所と共に申請しましたが、「軒先配線は不可能で、裏配線の場合は道路があることが必要」というのが電線管理者からの回答です。無電柱化の方法を、軒先配線方式から地中化方式に変更し、長野県と引き続き協議・検討していきたいと思っています。

問 村道2026号線（神城山麓線）の北城地区への延伸事業の区分は。

村長 「継続事業」と考えています。地域役員懇談会の要望事項においても、複数の行政区から要望もあり、神城山麓線の延伸は必要と考えますが、現段階ではルート等は白紙の状態です。

問 「神城断層地震」の復興が最重要課題である。新年度に向けての財政運営方針と、復興以外の重点施策上位5点は。

村長 長野五輪などによる集中投資後、緊縮財政運営を進め、ようやく当村の財政状況も健全化になりつつあります。基本はその財政運営を継続し、必要な事業には予算付けし、メリハリのある財政運営を進めたいと思います。震災復興以外の

施策上位5点は、①白馬高校存続の支援事業、②平成29年2月の国民体育冬季大会開催事業、③当村の基本計画となる第5次総合計画策定事業、④学校環境整備の一つである共同調理場の建設事業、⑤特産品開発への支援や特産品を活用したふるさと納税事業の強化です。



測量の始まる和田野地区

問 再生エネルギー担当の環境課再設置を

答 災害復旧優先で、課の設置は今後検討



伊藤まゆみ議員

【地方創生・まち・ひと・しごと創生について】

問 平成26年度補正予算計上の商品券発行事業補助金1740万9千円の詳細は。

村長 120000円分の商品券を100000円で8000部発行し、8月から翌年1月までの6カ月間の使用期間を予定しています。

問 利用期間を来年3月まで延長すれば、スキーリフト券、村内宿泊施設・飲食店での忘新年会、冬期間の温泉施設など村内での消費循環の効果が期待できるのでは。

観光課長 6カ月を超えて発行する場合に課せられる要件のハードルが高いこと、繰り越し

事業のため、2月から3月に清算処理をしなければならぬことから、この期間に設定しました。

問 島根県海士町では、プレミアム付き地域通貨を発行し、島外業者への資金の流出を防ぐ効果を期待している。地域内で資金が蓄積、循環することが持続的発展に必要なが、今後地域通貨を検討する考えは。

村長 今、村では考えていません。

問 「商業施設への無線LAN設置補助」の詳細は。

村長 県の外国人旅行者受入環境整備事業補助も活用し、宿泊施設に限らず飲食店やスキー場での活用や、大きい規模の宿泊施設やスキー場のレストハウスなど広い面積での使用を可能にする整備に対し、2分の1の補助率で30万円の上限を交付する予定です。

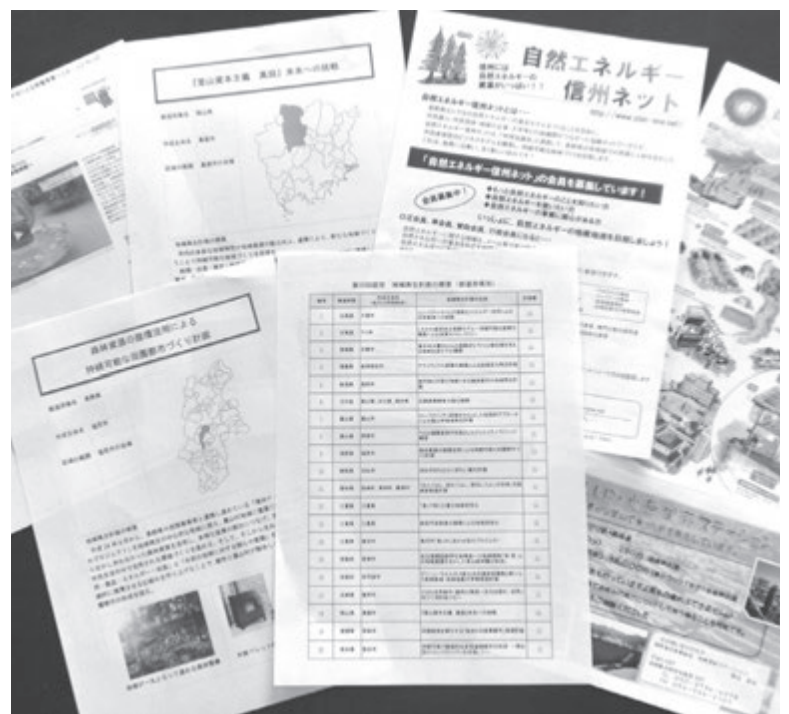
問 「中学校へのICT教育環境の導入整備」により、どのような授業が可能になり、どのような効果があるのか。

教育課長 生徒は情報モラルを身に付け、情報を適切かつ主体的・積極的な活用が可能になり、教師は情報化により子どもたちと向き合う、また教員同士で授業展開を吟味する時間の増加が可能になります。また、社会科や総合学習で地域に出て映像を使つての調査など様々な面で多様な活用ができます。

問 地域活性化には「地域内再投資力」が決定的に重要だが、教育費に多額の投資をして育てた子ども達も大学に進学すれば、一人約2000万円村外へ流出することになる。食い止めることはできないまでも村内に還元可能な政策は。

総務課長 コンサルや戦略策定に長けた人が参加する「総合戦略」のワークショップで、人口減少に歯止めをかける内容を盛り込んでいく予定です。

問 資金漏出のもう一つの大きなものはエネルギーである。当村は森林のほかに水資源も豊富で、電気使用量の80%



注目が集まる再生エネルギー：地方再生に欠かせないのでは？

問 「総合戦略策定事業」委託料の内容は。

村長 基本目標を達成するための施策の具体的な数値目標に必要な人口動態の分析、若い世代の就職・結婚に関する意識アンケートの分析・調査に対するコンサルティンク業者への費用です。

問 資金漏出のもう一つの大きなものはエネルギーである。当村は森林のほかに水資源も豊富で、電気使用量の80%

村長 平成27年度は災害復興に全力を上げることが重要であるので、今後検討してまいります。

を水力で発電していると言われている。木質バイオや小水力発電の再生エネルギーを総合的に推進し、同時にごみ減量を扱う環境課を再度設置し、資金の蓄積・循環を構築すべきと思うが。

問 村独自の医療従事者の育成は

答 医療課題として検討します



田中榮一議員

【地方創生について】

問 白馬版総合戦略策定内容は。

村長 策定委員会を立ち上げたもののほか、震災復興や地域に即した目標や、より効果的で実現性の高い施策を取りまとめ総合戦略に盛り込むことを考えています。

問 被災された方が安心して村に居続ける施策は。

観光課長 被災者の意向を伺いながら、公営住宅事業計画や、住宅再建についての一部利子補給などを進めていきます。

問 医師不足により市立大町総合病院産科が休止になった。村独自として医師・看護師等の医療従事者の育成制度の考えは。

村長 長野県では「信州医師確保総合支援センター」を設置し医師の偏在解消を図っており、看護師については「看護職員修学資金貸与制度」を設けています。近隣市町村と連携し、大北医療圏域における医療課題として検討していく必要があると考えています。

【組織体制の強化と人材育成について】

問 村長が考える人材育成は。

村長 人材育成の研修を計画的・体系的に行うための研修計画を立てるように指示を出しています。

問 スポーツ課を観光課の中に組み入れた体制作りの考えは。

村長 スポーツ課が管理する施設は観光的要素が大きく、観光施設として一般の観光客を呼び込む体制をとることも観光振興の一つの案ですが、社会教育の関係や、小中学生の利用調整、補助金・交付金をいただく手続き等があり、既存の枠を超えることは難しいです。

問 特定健診対象年齢到達前の30歳代の検診の実施、介護保険の見直し、今後予想される高齢化率の上昇等に対し、職員の人材不足が予想されるが。

村長 担当課の中における業務の洗い直し、事務分担や、人員配置の見直しを行い、さらに何が最重要課題であるのか、それについて解決するための体制を整えなければと考えています。

【五輪合宿誘致について】

問 2020年東京オリンピック参加国の地域事前合宿誘致に村は手をあげて

る。村を世界にアピールするのに絶好の機会と捉えるが、誘致実現のための策は。

村長 組織委員会が主催する事前説明会に参加しましたが、練習会場は国際競技連盟の基準を満たす必要があり、この条件を満たすことは厳しい状況にあります。しかし、村は長野オリンピック競技施設を始



役場の体制強化と人材育成が求められている

め、公共・民間合わせて多くのスポーツ施設が存在するという環境に恵まれた地域でもあるので、観光協会等と連携しながらスポーツ合宿やクロスカントリー大会などへの参加者を増やすための広報活動にも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

問 災害復興計画の策定予定は

答 地域要望案も含め検討します



津滝俊幸議員

が、個別の案件への対応は。

住民課長 工事の進捗に差し支えない範囲で対応していきます。個別の案件については問い合わせてもらいたいです。

問 ゴミの搬出量が一時的に多くなるが、対応はできるか。また、リサイクルやリユースなどを進めることによって、ゴミではなく資源になる物もあると思うが、どのように進めて行くのか。

住民課長 搬出量は一時的に多くはなると思います。しっかりと分別をして、資源、ゴミとしてリサイクルに回していくことで、減量に努めるよう排出者や事業者者に指導していきます。

問 インフラ等の復旧工事、更には解体撤去作業、農地の復旧、民間の復旧工事等が局所的に集中し、工事の進捗や住民生活に支障をきたす恐れがあるが、それらの工程調整は。

村長 4月より災害復興対策室を設置し、各課横断的に

調整します。まずは上水道や下水道などの埋設工事から始め、解体作業の支障をきたさないように進めます。実施工程を必要により随時住民へ説明し理解をお願いしていきます。

問 災害復旧は災害前の機能に戻すことで、復興は失ったものを再び勢いを取り戻し、災害前もしくはそれ以上の状態へ導いていくことが根幹だが、復興計画は策定するのか。

村長 人口流失防止や地域コミュニティを守るため具体的には公営住宅の建設を計画していく。復興につながるご意見があれば、今後の地域要望案も含め検討したいと考えています。

【第5次総合計画策定について】

問 白馬村第5次総合計画の策定について、昨年度は何のアクションもなかったが、今後どのように具体的に進めていくのか。



1日も早い復興を

村長 住民アンケート調査を村民2000名程度無作為に抽出して行い、4月から5月にかけて第4次総合計画の検証作業を実施し、計画審議会の委員の一般公募を行い、5月を目途に第1回計画審議会を開催する予定です。12月頃に素案のパブリックコメントを実施し、平成28年3月には策定を完了したいと考えています。

問 地方自治法の改正により基本構想の策定の法的義務がなくなり、議会の承認を得るかどうかは市町村の判断に委ねられたが、村の対応は。

村長 条例で議会の議決事項に定めて総合計画を策定していきます。

問 倒壊家屋のがれき撤去作業の進め方は。

村長 半壊以上の被災家屋を対象に、現在、約80件120棟余りの解体・撤去の申請があります。11工区分け4月上旬に請負事業者を決定し、中旬には工事の着手をしたいと思っています。事前に住民説明会を開催し、不安の解消と工事を円滑に進める理解を求めていき、8月頃までには第一段階の事業を完了する予定です。

問 解体希望者の中には全部を解体撤去するのではなく、一部のみを解体や半分は残したいという希望もあるようだ

議会改革調査特別委員より

議会に関するアンケートのお願い

議会改革調査特別委員長 太田 修

議会は、村民の代表として、村政への政策提言や予算執行状況のチェックなどの活動を行っています。村民の皆さまのご意見などを十分に反映する方法や、求められる議会のあり方などを検討するために、平成26年第3回定例会で議会改革調査特別委員会を設置しました。

委員会では、議会基本条例の検討、運営や情報の発信方法などの研究を行ってきました。議員による内部検証だけでは、片手落ちになる可能性も否めず、今回、村民の皆さまにアンケート調査を行うことにしました。議会を運営するにあたって、改革が必要と思われる部分などについて、ご意見をお伺いするものです。

アンケートは、5月下旬に無作為抽出で発送し、6月を用途に回収の予定です。なるべく多くの方に回答いただけるような方法も検討中で、議会のホームページでお知らせしていきます。結果は、9月定例会の議会だよりやホームページで公開します。

よりよい議会改革を目指したいと考えていますので、皆さまのご協力をよろしく願います。

産業経済委員会 視察報告

「村内スキー場の視察」

期日：2月26日

長野県神城断層地震の影響や、インバウンドの状況など、スキー客の入り込み状況、意見交換も含めたスキー場視察を行いました。

震災の影響は、風評被害に対しての県や村の素早い対策もあったためか、あまり深刻な影響はないということでした。インバウンドの入り込み状況は、どのスキー場でも明確に増加しているということでした。また、今年度は、特に深刻な労働者不足があるということでした。

課題としては、村内宿泊施設数の減少、スキー場を結ぶ村内2次交通の整備、チケットの共通化（改札機の共通化）の検討などが多くのスキー場から出されました。今後に向けて、お客さま目線からの整備や改善が大事であり、議会としても提言していきたいと思えます。

「北陸新幹線金沢延伸に関わる視察」

期日：4月17日

3月の北陸新幹線の金沢延伸開業を受けて、飯山市や金沢市の観光に関しての先進地視察をおこないました。

飯山市観光局は、白馬村観光局を見本として設立されましたが、構成や自主収益事業部門などについては大きく異なっています。北陸新幹線開業で新しくなった飯山駅は、周辺施設整備も計画されており、明るい駅舎には、局が経営するアウトドア関係のショップやカフェもあり、今後が注目されます。

また、金沢市では、観光のコンセプトづくりや地域との連携、広域観光やインバウンド対応、住民ボランティアの活躍と育成、国際コンベンション都市への推進体制などを伺いました。延伸により観光客の入り込み状況は、数倍の状態が続いているということでした。

ともに、延伸を契機とした能動的で意欲的な姿勢が印象的でした。参りにしたいと思えます。



金沢駅 鼓門

夢、私たちに。

わたしのひとこと



全ての方々へ

堀之内 平林 克浩

去る11月22日、あの地震により、私達の地区は大変大きな被害に見舞われました。あの凄まじい揺れ、夜が明けてからの光景は一生忘れる事は出来なんでしょう。懸命に地域住民と助け合い、奇跡的にも犠牲者が出なかった事は本当に良かったです。とりわけ、行政の方々には地震発生直後から、昼夜を問わずご尽力を頂き感謝しております。

また村内外問わず、多くの方々に支えられ、大変有り難く思っております。雪が解け、いよいよ復旧作業が本格化してきます。まだまだ時間がかかりますが、一日も早い復興を願います。支援して下さった全ての方々に心から感謝し、自分に出来る事は協力していこうと思っております。

本当にありがとうございました。



子どもと共に感動を

深空 郷津 達也

長野市の会社でシステムエンジニアをしている。今年も理系の学生が入社した。理系離れといわれる昨今、貴重な人材である。

子どもたちは元来好奇心に溢れていて、動物、昆虫、車、ロボットなど生物や科学が大好きである。しかし、学校で習う数学や理科はなぜか不人気だ。今にして思えば、数学が何の役に立つのか、あまり教わった覚えがない。もちろん、純粋に数が好きで学問として突き詰める人もいるだろうが、勉強に意味が見出せないと離れて行くのは当然だ。

3DSが動く仕組み、携帯で話ができる謎など、身近な物に数学や理科が深く関わっている事を伝えれば、興味が湧くのではないか。傍らで子どもの感動に共感できる人の存在も、子どもの興味・関心を育て、持続させる上で重要だという。親として子どもと共に感動できるピュアな心を持ち続けたいものである。



風が運ぶ

新田 丹羽 宙子

白馬の初夏から秋にかけて、優しい風が吹く時があります。

私の大好きな季節です。人々もエネルギーに活動をしてパワーを貰います。バザーもその一つで楽しみに出掛けて行きます。何年か前に「クリンソウ」を一鉢買い、庭に移植をし、その2年後位にクリンソウの所あたりからスーッと背の高い草が生えてきました。80センチ程伸びたその草は小さな白い花をつけています。ある時、その花に8頭程の蝶が来て、花や葉にとまったり飛んだりしています。早速「歩く植物図鑑」の異名を持つ友人に写メして聞くと、花は「フジバカマ」で蝶は「アサギマダラ」という渡りの蝶で、九州の方まで渡って行く蝶だという事がわかりました。

すごい！テレビで見る様な光景が自宅の庭で見られるなんて！

優しい風に吹かれながら、ずーっとフジバカマとアサギマダラを見ていました。

編集後記

春。新たなシーンに臨まれる方も多いと思います。それぞれの皆さまにお慶びを申し上げ、ご活躍を期待いたします。

今冬は雪が深く、春が待ち遠しかったのですが、雪解けとともに、冬の間さらに壊れた被災家屋があらわになり、ここからが本当の復興だと思えます。合わせて、新たなスタートを切る白馬高校や、検討に入った給食共同調理場のことをはじめ、観光、経済環境や農業、医療、福祉のこと等々、常に変化する局面に対し、研修を重ねながら柔軟な議論をしていきたいと思えます。議会改革への取り組みも始まりました。皆さまの率直なご意見をどうぞお寄せください。

(篠崎 久美子)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 横田 孝穂 |
| 委員長 | 太田 伸子 |
| 副委員長 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 松本喜美人 |
| 委員 | 伊藤まゆみ |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 北澤禎二郎 |